

ま ち の あ ゆ み

1日 道路除雪打合せ
 8日 民生委員協議会
 9日 定例町議会(1日目)
 11日 沓形漁組荷捌所落成
 12日 定例町議会(2日目)
 29日 臨時町議会

広 報

り し り

1968. 1. 1. No.11

発 行

第 11 号

昭和43年1月1日

発行者 利尻町役場

印刷者 利礼資材印刷所



賀 正

(沓形岬から利尻富士を望む)

謹 賀 新 年

昭和四十三年元旦

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 議 員 | 大 北 | 中 高 | 大 山 | 大 高 | 原 崎 | 不 破 | 高 島 | 西 島 | 浜 岸 | 角 谷 | 惣 万 | 川 村 | 吉 安 | 谷 口 | 桜 井 | 加 藤 | 梅 津 | 牧 野 |
| 副 議 長 | 中 川 | 原 捨 | 村 重 | 高 千 | 崎 竹 | 破 保 | 島 光 | 島 雄 | 岸 松 | 谷 昭 | 万 惣 | 村 八 | 安 皓 | 口 裕 | 井 正 | 藤 孝 | 津 和 | 野 吉 |
| 議 長 | 松 野 | 義 男 | 三 雄 | 代 太郎 | 治 郎 | 保 治 | 夫 保 | 夫 雄 | 正 雄 | 夫 正 | 市 夫 | 八 夫 | 治 夫 | 裕 夫 | 敏 夫 | 三 郎 | 朗 朝 | 太郎 朝 |
- (以上議席順)

希望に満ちた昭和四十三年の輝かしい新春を皆さんと共につつがなくむかえることができて誠に慶賀に堪えません。

昨年は私にとつて第二期目の初年度であり、第一期の町政に反省を加え、復興後



の民生の安定と、よりよき町政の進展を図らねばならぬ重大な試

練の年柄でありましたが、幸いにも町民の温かい御支援と、御協力によりまして所期の目的を達成することが出来ました。

道や国の継続事業である港湾・漁

町民の皆さん、新年おめでとうございませう。

昨年は、日本国憲法の下に確立された現行地方自治制度の二十周年の年でありました。この間皆さんは利



尻町政伸展のため、惜しみなく一杯の御協力を賜り、お陰をもつて底力のあ

る堅実な発展をとげてまいりましたことは、まことに感謝にたえませぬ。

しかしながら、町の現状を見ます

新年のご挨拶

利尻町長 小田桐 清 実

港・道路については予定どおりの事業費で整備が行なわれ、町の事業としては仙法志市街地から元村・御崎

に通ずる町道の改修、仙法志林道の新設をはじめ、神居にはユースホステル、杵形日出町にへき地保健福祉会館を建設し、そのほか教員住宅低家賃住宅などの福利厚生施設の強化充実を図ることが出来ました。

また、消防・衛生施設など、町費五千余万円を投じてこれらの事業を実施しましたが、国・道の分を合わせると実に五億数千万円の巨額にの

ぼつております。

本年度は、更に文教・厚生・産業(観光産業をふくむ)・消防・衛生などに重点をおき、特に水産の振興と、背後地の開発に検討を加え、漁家の兼業体制と第二次、第三次の加工業の振興に力を注ぎ、人口の島外流出を防止する対策を講じたいと考えております。

いづれにせよ数多くの懸案を解決するには町財政の確立を期さなければなりません。限りなき要望を限りある財政のなか

で処理するのですから一気にこれを満たすことは不可能でありますので、緊要度の高いものから順次解決したいと考えております。

今のところ殆んど依存財源に頼っており、自主財源は二割にも満たない現況であり、加えて病院会計に相当多額の繰り出しをしなければならぬ苦境に立つております。

自主性ある財政確立には住民所得が向上して、一人一人が豊かになり、民度が高くなつて、税収入が伸びなければ、望まれません。

よき町づくりは、よき人材を郷土にとどめることであり、それには魅力ある町づくりをすることであると考えられますので、この問題と真剣に取り組み覚悟であります。

行政・文化の水準を高めるには、なによりも住民の自治意識がその要素であると思われまますので、住民は「自治不在」であつてはならないし、理事者は「住民不在」であつてはなりません。

この町は、みんなのもので。みんなで努力してよい町をつくるのでなければ、「自治不在」になります。

私も腰をすえてじっくりと騒がずあせらず、町民と共にある姿勢を堅持して町政の進展に粉骨砕身の決心でおりますので、今年も相変わらず御指導をお願い申し上げます。皆さんの御多幸を心からお祈りして新年の御挨拶と致します。

年頭所感

利尻町議会議長 松野義男

とき難問が山積してあり、愈々きびしい局面になつていゝことも又、事実であります。

昭和三十九年有史以来の大火にもめげず、財政再建準備団体として、二八〇〇万円という巨額の赤字を昨年度までの八年間に解消し、遂に念願の一人立ちの財政運営をとりもどすに至りました。又昨年度の事業として保健福祉館、ユースホステル建設、都市計画完成、保健所支所の誘

致、港湾漁港修築、道路の舗装補修等がなされ、本年五月には小樽航路の五〇〇吨級新造船の就航、更に又明年には利礼航路に五〇〇吨型フェリーボートの就航も予定され、本町を中心とした観光客の来訪は飛躍的な伸びを見込める見通しであります。

このようにわが郷土は確に著実に伸展して来はおりますが、その反面、病院事業の三六〇〇万円という

先的一般会計の赤字を大幅に上廻る膨大な赤字解消計画をむこう十年間にわたつて計らねばならず、又、老朽小中学校の全面改築の大事業が控え、更に又、全国的なすう勢である

経済の高度成長に伴う人口の都市集中、いわゆる過密過疎の問題、特に当町のような辺地町村の若年労働力の流出は、既に社会問題化しており政府も懸命にその対策に腐心してはいるものの、今や大河に抗する感さえ抱くに至つております。

これに対処するには、目先の見返りに幻惑されることなく、将来を見極める克明な洞察の上に立つて町村の経営を考え、事業投資にしても

総花的投下を排し、将来の定着化を基調とした産業基盤の整備を目標に、集中的パイオニアの投資を図るべきであろうと考えます。

議決機関たる町議会や、かような見地に立つて、部落意識や、利益代表意識に立つた政治感覚は、もはやすでに古い時代の遺物であることを強よく自覚し、終始公正に八千町民の信託に応え、町政に山積する諸問題を慎重に審議し、町民各位の御期待に副うよう努力する決意であります。どうか町政に対する皆さんのより一層の御理解と御協力を賜りますようお願いして年頭の御挨拶といたします。

年頭にあたって

北海道知事 町村金五



道民のみ
なさま明け
ましておめ
でとうござ
います。
北海道百
年という記
念すべき昭
和四十三年の新春を、みなさまともにお祝いできますことは、このうえもないよるこびであります。昨年
の本道は、天候が順調であり農業は史上空前の豊作に恵まれ、本道の産業経済は概して好調のうちに推移することができましたことは、まことにありがたいことであります。

本年は、明治の新政府が「エゾ地」を「北海道」と改め、開拓使を設けて、本道の開拓に着手してからちょうど百年という歴史的にまことに意義深い年にあたります。かえりみますと、私どもの父祖がきびしい風雪とたたかい、未開の大地にいどんで開拓の斧をふるつてから、わずか百年の間に今日の偉大な北海道が建設されたのであります。いま、私ども五百万道民は、この輝かしい発展を築きあげられた先人の血のじむ苦闘の跡に、あらためて深く感謝の誠を捧げるとともに、このすぐれた基盤の上に、今日の刃すわ(販)の地北海道を将来は必ずわが国の枢要の地域に向上発展させるため、伝統ある開拓者精神を振るいつつ協力一致してたくましく前進をつづけなければなりません。

ときあたかも本年は、第二期総合開発計画の六年目にあたるのであります。過去五カ年間の成果に反省と検討を加え、本道の開発に精魂を傾けて国力の発展と道民生活の向上のため一層の努力を重ねてまいる覚悟であります。開道二世紀の第一年である昭和四

ことしの除雪対策 土木現業所は機械力を増強

ご承知のように、利尻島内の循環道路は、道々ですから、稚内土木現業所利尻出張所が除雪にあたるわけですが、島内いたるところに吹溜りの箇所ができて、除雪作業をする利尻出張所の苦勞は大変なものであります。厳寒の早朝、バスの運行を容易にするためのブルトーザーとロータリーの力強い響き、利尻島の夜明けは除雪によつてはじまります。島内の道々は、建設省の基準によつて第三種路線に指定されており、一車線(三・五メートルから四メートル)の巾とし、必要な箇所には待避所を作ることになっております。ただし、吹雪、豪雪などの場合は一時的には交通が止まってもやむを得ない地域になつております。

十三年の年頭にあたって、道民みなさまのご健闘、ご精進を心からお祈りしてごあいさついたします。

43年度利尻高校 入学定員きまる

北海道教育委員会は、去る十一月六日、四十三年度の道立高等学校生徒の募集人員を発表しましたが、利尻高等学校の学科別入学定員は次のとおりです。

普通科一学級	四十九名
商業科二学級	九十八名

- つて、各ステーションを出発します。ふだんは、朝の定期バスが運行できる状態にすれば、一般の車も通れるので、杏形発六時十分の一番バスが通るの間に合うように、朝五時十分には各除雪車は出動します。なお、日中でも除雪があれば出動しますが、吹雪、地吹がひどい場合には、除雪車の運行が危険ですから見透しが良くなるまで待機します。また、夜間の除雪は原則として行いません。
- (1) ◎協力をお願いする事項
除雪障害物の移転
ことしは、グレーダーで今迄より若干巾広く除雪しますから、道路敷地内に置いてある物(例えば舟、薪、船巻ウインチなど)は、ゆとりをとつて必ずよそに移して下さい。
 - (2) ◎仙法志ステーション(土現詰所)
D六〇ブルトーザー
ほかに、鵜泊に三台、鬼脇に一台配置され、島内の除雪機械力は八台になりました。
 - (3) ◎排雪について
除雪巾が四メートルから三・五メートル以下になつた場合や、必要な待避所の確保ができないときには、排雪を行います。
 - (4) 路上駐車に注意車路上に駐車して置くこと、朝迄に雪が積つて、吹溜りのようになり、除雪車が知らないで破損することがあります。路上駐車には十分気を付けて下さい。
 - (5) 雪を道路に押し返さないこと。
除雪した雪を、勝手に道路に押し返して、交通に支障を及ぼすことのないようにして下さい。
- ◎除雪車の配置
(1) 除雪センター(土現利尻出張所)
TWトラック
D五〇ブルトーザー
HTRロータリー
(2) 仙法志ステーション(土現詰所)
D六〇ブルトーザー

除雪して道路を広く使おう

- 除雪は念入りに、車道ばかりでなく歩道の除雪も
- 道路に商品や品物を放置しない

この場合、地区の皆さんと、車輛所有者の方々のご協力をお願いいたします。

